

福島第一原子力発電所の状況

2016年3月24日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/24 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.7 m ³ /h	15.2	0.49 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	20.4	5.33 kPa g	A系： 0.08 vol%
		炉心スプレ系：約2.6 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.1 m ³ /h	17.7	0.25 kPa g	A系： 0.08 vol%
		炉心スプレ系：約2.6 m ³ /h			B系： 0.09 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (3/24 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.3
2号機	循環冷却システム	運転中	25.4
3号機	循環冷却システム	運転中	22.4
4号機	循環冷却システム	運転中	11.2

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/24 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中 ^{*1}	停止中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要となる工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始
- ・2016/3/23 11:52 集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋において、漏えい検知器が動作し、警報が発生。当社社員が現場を確認したところ、工事中の配管の未接続部(端部)から水が漏えいしていることを確認。当該配管に接続されている弁を閉じたことにより漏えいは停止した。漏えいした水については、ろ過水もしくはセシウム吸着装置の出口水が考えられるため、水の分析を行うとともに調査を実施する。漏えい範囲は約35m×約5mで同建屋内に留まっており、外部への流出はない。
漏えいした水の放射能分析結果については、以下の通り。
(工事のため切断した配管端部に養生したビニールに溜まっていた水を採取)
 - ・セシウム 134: 63,000 Bq/L
 - ・セシウム 137: 320,000 Bq/L
 - ・全ベータ : 480,000 Bq/L

上記の分析結果より、漏えいした水については、セシウム吸着装置の系統の内包水と判断。漏えいした原因は、当該装置に接続されている配管(工事中のため切断された状態)の上流に設置されている弁が開いている状態で当該装置を起動したため、系統の内包水が押し出され流出したものと推定。

漏えい量については、漏えい範囲等から最大で約5,300Lと推定。漏えいした場所は、床面がスロープ状になっており、水が漏えいした場合でも建屋内に留まる構造となっている。漏えいした水の回収作業を完了しており、漏えい原因については、引き続き調査する。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。

7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。

7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。

・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクBの分析結果[採取日 3/17]について、運用目標値を満足していることを確認。

【地下水バイパスの状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

<最新のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【1～3号機放水路の状況】

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

・3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能がND(ND値 22Bq/L)であったのに対し、最大で200Bq/Lに上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

<最新のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き監視を強化するとともに全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以上